

事務事業名	地域産品ブランド化事業			会計	一般会計		事業種別	政策	開始	17	終了	
H27担当課等名	工業課		H27係等名	工業振興係		H26係等名	工業振興係					
基本計画上の位置づけ	政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり									
	施策	13	新しい力による新しい産業づくり									
目的	対象(誰・何を)	地域内製造業者 農産物生産販売事業者						対象指標	指標名及び単位		26年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	ブランド力の向上と企業間の協体制を築くことで、付加価値の高い産品を生み出し、企業の安定的な成長をねらう。							工業統計による地域内事業所数(飯田下伊那)		503	
	向上させたい上位施策の成果指標	海外チャレンジ事業による新規商談成立商品数(累計)										
目標	種別	指標名及び単位				26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	付加価値を高めた案件				5	5	5	5			
	定性目標											
事業概要	<p>地元産品をブランド化させることにより、高付加価値産品を流通させ地域経済を活性化する。南信州地域を対象エリアとする産業センターへの委託事業とするが、農・商・工・観・林などの連携事業として実施する。専門家からのアドバイスを受けながら、域産域消も含め地域産品をブランド化し、販売戦略を構築する。飯田市産業親善大使(小椋ケンイチ氏、小沢亜貴子氏)との連携によるブランドイメージ向上戦略を展開する。国内外にブランド力のある「市田柿」を前面に出しながら、東アジア地域を中心とする将来性のある市場へのPRを図る。(※農業課の地域農産物等の海外輸出チャレンジ事業を統合(H23年度から))</p>											
26年度事業内容	事業内容					名称			活動指標			
	1 農工商連携コーディネーターの配置支援					1 人			1 1人			
	2 南信州ブランド化の支援					2			2			
	(1)産業親善大使を活用した飯田水引コンテストやPRツールへの支援(小椋ケンイチ氏、小沢亜貴子氏)					(1)産業親善大使委嘱数			(1)2人			
	(2)つぶほまれブランド化事業の推進					(2)生産量/加盟団体数			(2)14t/44団体			
	(3)ブランド向上に向けて取り組む新たな事業グループへの支援					(3)支援団体数			(3)1団体			
3 農商工等連携の推進					3			3				
(1)異産業連携による省力化・安定収量確保機械の販路開拓支援					(1)支援案件数			(1)1件				
(2)南信州茶を活用した体験ツアーへの支援					(2)ツアー数/延べ人数			(2)2回/36人				
4 東アジア(香港)の市場調査を兼ねた販路開拓支援					4 出展参加人数			4 8人				
5 地域産品PRを兼ねた販売促進支援					5 出展回数			5 13回				
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足						
事業費計(千円)①		3,300	3,036	3,036	3,036							
国庫支出金												
県支出金												
起債												
その他												
一般財源		3,300	3,036	3,036	3,036							
人件費計(千円)②		715	/	1,073	/							
正規職員所要時間		200		300								
臨時職員所要時間												
総事業費①+②		4,015	3,036	4,109	3,036							
事業内容・目標達成状況の振り返り	<p>飯田市産業親善大使として小椋ケンイチ氏(飯田水引)・小沢あきこ氏(飯田菓子)を委嘱したことにより、知名度及びブランド力の向上に資することができた。9月まで農工商連携コーディネーターとの連携により、つぶほまれ、南信州茶等の事業化を推進することができ、皮革の新たなグループへの支援や果樹等の海外販路開拓を行うことで付加価値を高めることができた。</p>											
改革改善の考え方	①問題点	産業親善大使・農商工連携コーディネーターの有効な活用方法について関係各団体等と調整を図る必要がある。										
	②改革提案	飯田市産業親善大使の思いと関係各団体等の意思や意向を確認しながら事業を展開する。地域活性化プログラム重点プロジェクト事業の推進として有効活用を検討する。										